

社内で人材育成を効果的に進める仕組み 10 選

はじめに

この度は、「人材育成を社内で効果的に進める育成の仕組み 10 選」のご依頼を頂きありがとうございます。ご依頼を頂いたということは、従業員の育成に対してなんとかしなければならぬという危惧、もしくは、今も充実しているが更にいい育成を行って個人・組織の成長を促進したいといったニーズをお持ちであると存じます。

貴社では、人材育成がどのくらい重要視されているのでしょうか。従業員の皆様は、どのくらい育成に対し熱心でしょうか。例えば、貴社の従業員の方が管理職や OJT 担当として育成を任された際に、下記 A～C の従業員が取る反応のどれに当てはまりそうでしょうか？

従業員 A

「忙しい中で、何で育成なんかやらないといけないんだ。自分の仕事もあるのに、手間ばかりかかって嫌だ」

従業員 B

「忙しい中で大変だし、育成は難しいけれど、給料をもらっているのだから、できる限りのことはやろう」

従業員 C

「自分が育成に関わったメンバーが、成長していく姿を見るのが嬉しい！メンバーも喜んでくれるし、やりがいを持てる。メンバーが成長すればチームや会社も成長するし、お客様にもよりいいサービス、対応ができるようになるから、誇りを持って取り組もう！」

A、B、C の誰につくかによって、当然メンバーの成長スピードや成長レベルは異なります。そして認識しておくべきことは、人は自分の経験に基づいて考え行動する傾向にあるため、そのメンバーが育成する側になった際に、同様の考え方・対応をもって新人や部下の育成に関わるようになる、ということです。そうであるならば、全員が従業員 C、少なくとも B の考え方になってもらうように、組織としては取り組む必要があるでしょう。

もう一つ、お伝えしておきたい事があります。それは、環境も人に影響を与えるということです。環境が部下に与える影響を分かりやすく理解できる考え方に、心理学者クルト・レヴィンが唱えた「クルト・レヴィンの法則」があります。

【クルト・レヴィンの法則】

人が取る行動とは、本人の特性と本人をとりまく環境が相互に作用して生じるものであり、 **【 $B = f(P \cdot E)$ 】** という式で説明することができるというもの

B (Behavior) : 行動

F (Function) : 関数記号

P (Personality) : 人間性、人格、個性、性格、価値観

E (Environment) : 組織・集団のルール、周囲の状況、人間関係、職場風土

従業員が取っている行動は、その人自身の特性のみによるものではなく、職場風土や人間関係の作用によって変わるといことです。

例えば、本来は、色んな提案を行うことが好きで得意な A さんがいたとします。過去、色んな提案を行って会社の業績向上や組織活性化に貢献してきたのですが、家の事情で地元に戻ることになり、転職しました。転職した先は、会社全体が非常に保守的で、新しいことにチャレンジをしません。どんなことを提案しても、何度提案してもことごとく却下されることが続きました。やがて A さんは、その職場において、提案することをやめ、淡々と言われたことだけをやる人間になってしまいました。この事例は、提案が好きで得意という A さんの特性があるものの、転職先の保守でチャレンジしないという環境によって、A さんの提案行動が悪い方向になったということです。もちろん、逆の結果（環境が良ければいい方向に行動が変わる）も起こります。

上記 2 点から、弊社は、組織に属する人員（役職、雇用形態関わらず）全員が、自分自身、共に働く仲間、組織に対して成長・育成の意識を持つことが組織活性、業績向上、ミッション実現に重要と考えており、3 つの視点を持った組織となるための育成文化醸成、育成力向上を様々な形で支援しています。

【きづくネットワークが目指す育成文化の視点】

1. 自己の育成 (=成長)
2. 仲間の育成 (=相互育成)
3. 組織の育成 (=組織貢献)

その実現の一助として、自社で実施できる育成の仕組みについて、数ある中から 10 の取り組みに絞りこみ、お伝えしています。

人材育成を社内で効果的に進める育成の仕組み 10 選 項目

<理念や行動指針、会社のスタンス・方針浸透>

1. チェーンメール
2. ケーススタディ

<多様な価値観の受入れ、心理的安全性の拡大>

3. 読書会
4. 定期的な席替え

<学ぶ力、活かす力の醸成>

5. 持ち回り情報発信
6. 講師持ち回りによる社内研修、勉強会の定期開催

<育成力向上、育成文化醸成>

7. メンター制度
8. 1on1 面談制度
9. キャリアデザイン制度

<育成意識・行動の浸透>

10. 教育委員会、育成プロジェクト